

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 3R推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 廃棄物対策課 資源循環推進係 電話番号：058-272-1111(内2714)

E-mail：c11225@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,558 千円 (前年度予算額： 3,568 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,568	0	0	0	0	0	0	0	3,568
要求額	3,558	0	0	0	0	0	0	0	3,558
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄に支えられたライフスタイルを見直し、環境への負荷軽減が図られた循環型社会への転換を図るため、3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進することは重要な課題である。

廃棄物の発生抑制(リデュース、リユース)及び有価な循環資源の再活用(リサイクル)を推進するためには、県民一人一人の行動が重要であり、市町村、民間団体及び事業所と連携し、分かりやすい形で普及啓発を進めていくことが必要である。

(2) 事業内容

- リサイクル認定製品の認定及び利用促進
- 循環型社会形成推進事業
 - ・ グリーン購入の取組及び普及
(東海三県一市共同取組・令和4年度事務局：岐阜県)
 - ・ ごみ減量化・環境にやさしい買い物の普及啓発
 - ・ 中部圏循環型社会実現推進会議(令和4年度事務局：岐阜県)

(3) 県負担・補助率の考え方

循環型社会の形成に向けた取り組みを推進することは県の責務でもあり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	116	リサイクル認定製品審査委員報酬
旅費	187	業務旅費、リサイクル認定製品審査委員旅費他
需用費	2,504	リサイクル認定製品検査消耗品費他
役務費	520	郵送代、電話料
使用料及び賃借料	11	会場借上料
負担金	220	グリーン購入関係負担金、会費他
合計	3,558	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略 3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(1) 地域の魅力の創造・伝承・発信

② 美しく豊かな環境の保全・継承

「第3次岐阜県廃棄物処理計画」(R3～R12)

第5章 計画の推進に向けた具体的施策

1 廃棄物の排出抑制・循環的利用及び適正処理の推進

(2) 国・他県の状況

東海三県一市(愛知県、三重県、岐阜県、名古屋市)等で構成している実行委員会で、東海エリアにおいてグリーン購入キャンペーンを共同展開。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

循環型社会の形成を図るため、ごみ減量化に繋がる啓発活動を通じて3Rの県民への普及を引き続き実施していく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H19)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①東海3県1市グリーン購入キャンペーン参加店舗数（岐阜県分）	408	859	35 (事業中止)	35	900	95%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	(1) リサイクル認定製品認定事業 リサイクル認定製品認定審査委員会 年1回 令和2年12月末日現在の認定製品数 166製品 (2) 循環型社会形成推進事業 東海三県一市グリーン購入キャンペーンへの参加 中部圏循環型社会実現推進会議参加
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	循環型社会の形成の実現にあたって、県民、事業者、県を含む行政が協働して3R施策(リデュース：発生抑制、リユース：再利用、リサイクル：再生利用)に取り組む必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	本事業の実施により、廃棄物の発生抑制及びリサイクルの促進が期待され、事業効果が得られていると考えられる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	県民、事業者、行政協働による循環型社会の形成のため、グリーン購入キャンペーンを広域的・継続的に実施していくことは、県民に対するリサイクルへの取り組みの必要性の着実な周知に繋がっている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 リサイクル認定製品について、公共事業等での積極的な利用を更に推進していく必要がある。また、単に循環資源を使用しているというだけではなく、デザインや機能性等を向上させた売れる製品の開発促進が必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 翌年度以降も継続して事業を実施する必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】